

HIKOKI

取扱説明書

用途

金属、石材などの研削

● 鉄、鋳鉄などのバリ取り・仕上げ

● 溶接、溶断部の研削、さび落とし

● 鉄材の切断

● 鉄材などの表面仕上げ・ペンキはがしなど

● カワラ、タイル、石材などの溝入れ

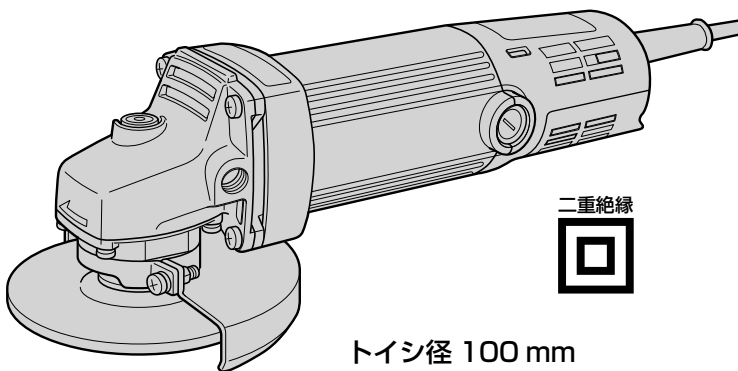
ディスクグラインダ

FG 10SB3

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
ディスクグラインダの使用上のご注意	5
各部の名称	8
標準付属品	8
仕様	9
用途	10
ご使用前の準備	11
ご使用前の点検	12
使いかた	13
別売部品	16
点検、手入れについて	22
ご修理のときは	裏表紙

△警告、**△注意**、**注** の意味について

△警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、**△注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、体をアース（接地）されている物に接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に **回** マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

ディスクグラインダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ディスクグラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

- ② ホイルガードは、必ず取付けて使用してください。

トイシやダイヤモンドカッターが破壊したとき、けがの原因になります。

- ③ 使用するトイシ（レジノイドトイシ）は、最高使用周速度 72 m/s {4,300 m/min} 以上の正規のトイシを取付け、正しい使用面で研削してください。側面や上面では研削しないでください。

正規以外のトイシを使用したり、また側面や上面で研削すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。（トイシ寸法は 9 ページの仕様欄を参照してください。）

- ④ トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。

- ⑤ 使用中、振り回されないよう機体を確実に保持してください。とくに始動時は気を付けてください。

確実に保持していないと、けがの原因になります。

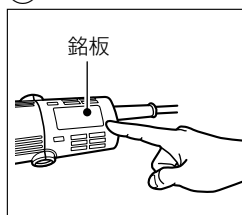
- ⑥ 水、研削液などは使用しないでください。

乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。

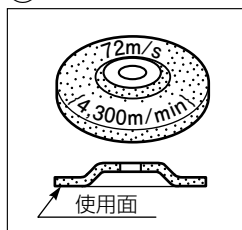
- ⑦ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。

トイシやダイヤモンドカッターが破壊したとき、けがの原因になります。

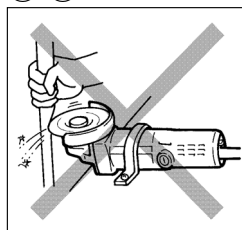
①



③



⑦ ⑩



⚠警告

- ⑧ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。

けがの原因になります。

- ⑨ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすい物、傷付きやすい物は安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。

火災ややけどの原因になります。

- ⑩ トイシを用いて切断作業をする場合は、切断トイシを使用してください。

切断トイシ以外のトイシは、けがの原因になります。

- ⑪ 切断トイシを使用する場合は、切断トイシ専用のホイールガード（切断用）、ホイールナット（切断用）を取付けてください。

切断トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

- ⑫ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

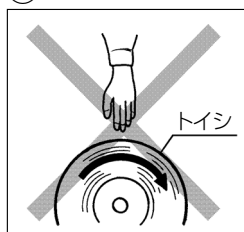
- ⑬ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

そのまま使用していると、けがの原因になります。

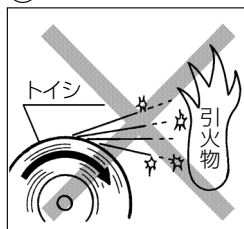
- ⑭ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、トイシや機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑧



⑨



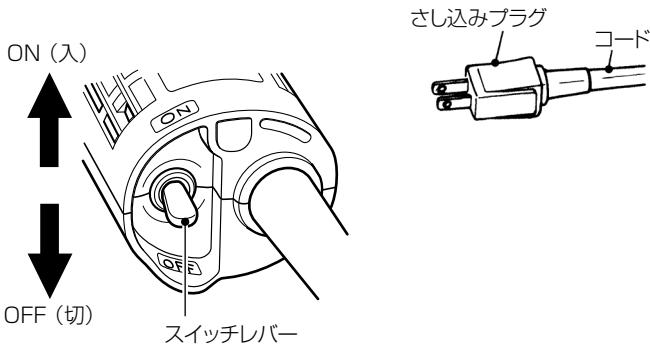
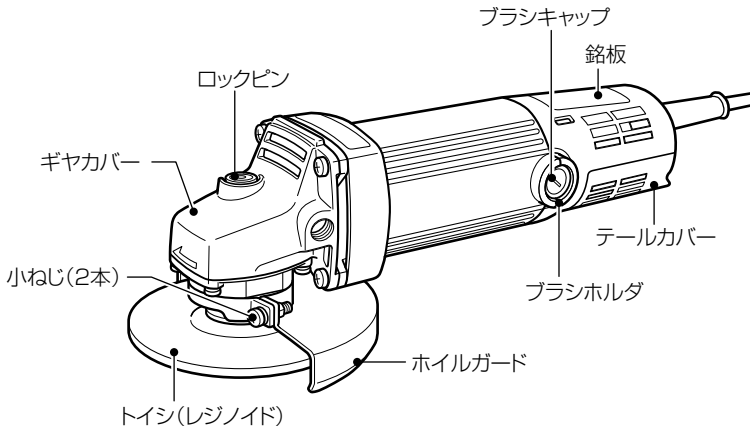
⑫



⚠注意

- ① 工具類（トイシなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から一時、体を避けてください。
トイシが破壊したとき、けがの原因になります。
- ④ 試運転を励行してください。
試運転は、トイシ交換後は3分間以上、その日の作業始め前は1分間以上行ってください。
試運転せずに作業開始すると、思わぬけがの原因になります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 指定以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。
丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。

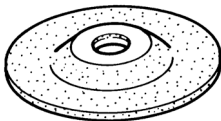
各部の名称



形状などの一部を変更している場合があります。

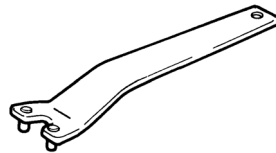
標準付属品

トイシ(レジノイドトイシ) 1枚



外径 100 × 厚さ 6 × 穴径 15 (mm)

スパナ 1個



仕 様

使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V	
トイシ寸法	外 径	100 mm
	厚 さ	4 mm、6 mm (レジノイドトイシ)
	穴 径	15 mm
無 負 荷 回 転 数	12,000 min ⁻¹ {回 / 分}	
全 負 荷 電 流	5.9 A	
消 費 電 力	560 W	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
質 量	1.6 kg (コードを除く)	
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 1.8 m	

用 途

金属、石材などの研削

用 途	使用する別売部品
鉄、鋳鉄などのバリ取り・仕上げ 溶接、溶断部の研削、さび落とし	レジノイドフレキシブルトイシ レジノイドトイシ フレキシブルトイシ
鉄材の切断	切断トイシ
鉄材などの表面仕上げ・ペンキはがしなど	サンディングディスク カップワイヤブラシ ベベルワイヤブラシ
カワラ、タイル、石材などの溝入れ	ダイヤモンドカッター（乾式用）

ご使用前の準備

作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。

1. 漏電しゃ断器の設置をお勧めします

二重絶縁構造製品は法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をお勧めします。

2. 継ぎ（延長）コードを用意します

警告

継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードを使用してください。

右の表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

コードの太さ (導体公称断面積)	最大の長さ
1.25 mm ²	15 m
2 mm ²	25 m
3.5 mm ²	45 m

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。

ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前の点検

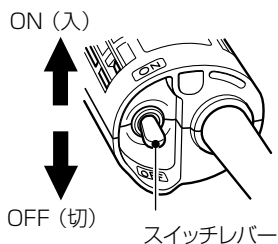
⚠ 警告

使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1. スイッチが切れていることを確かめます

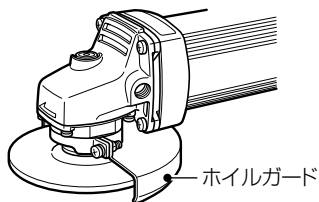
スイッチが入っているの知らずに、さし込みプラグを電源コンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

スイッチはスイッチレバーを ON (入) 側に倒すと入り、OFF (切) 側に倒すと切れます。



2. ホイルガードを確認します

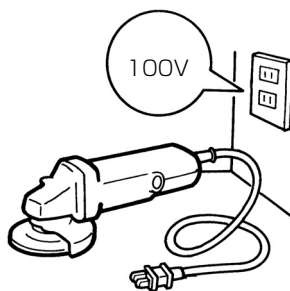
ホイルガードはトイシなどが破損したときの保護のためです。必ず取付けてください。



3. 電源を確かめます

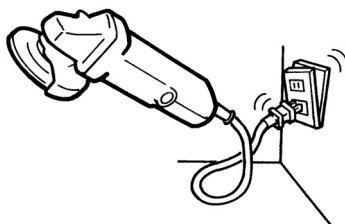
お求めのディスクグラインダは 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に速くなり、トイシおよび機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。ディスクグラインダの損傷をまねくだけでなく危険です。



4. コンセントを確かめます

電源コンセントがガタついたり、さし込みプラグがすぐ抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事に相談してください。



使いかた

準備をします

⚠警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠注意

ホイールナットは、必ず付属のスパナを使って十分に締付けてください。

1. 先端工具を選びます

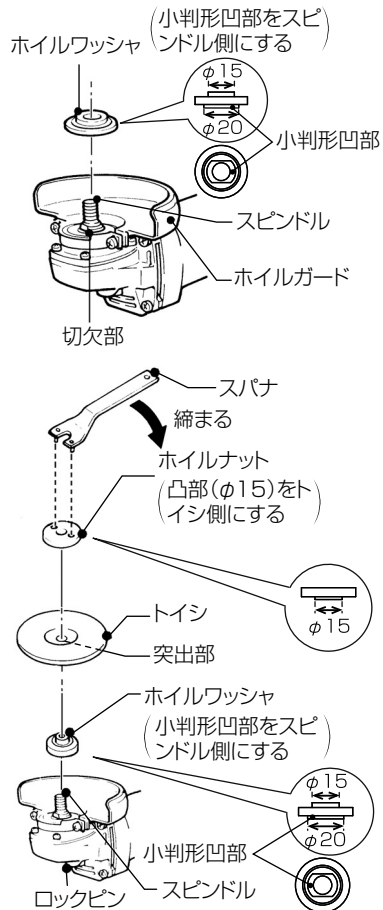
バリ取りや研削・さび落としなど用途に合った先端工具を選びます。

付属のトイシ（レジノイドトイシ）はト粒の種類 A、粒度 #36 の一般鋼材研削用です。トイシやその他の先端工具は 16～21 ページの「別売部品」の項を参照してください。

2. トイシを取付けます

- (1) スピンドルを上に向け、ホイールワッシャの小判形凹部をスピンドルの切欠部に合わせて取付けます。
- (2) ホイールワッシャの上にトイシの突出部が当たるように入れます。
- (3) トイシの上からホイールナットの凸部（φ15）をトイシ側にしてスピンドルにねじ込みます。
- (4) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイールナットを十分に締付けます。
- (5) ロックピンから手をはなすと、元の位置に戻り、スピンドルの固定が解除されます。

注 ロックピンを押してはなしたときに、確実に戻ることを確認してください。



3. トイシのはずしかた

取付けかたと逆の手順で行います。

● トイシの取り替えどき

トイシの外径が 60 mm ぐらいまで摩耗しましたら新品と交換してください。

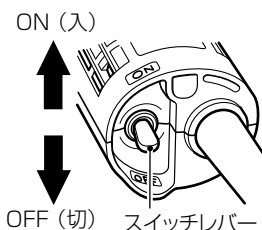


スイッチを入れます

⚠ 警告

使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

スイッチレバーを ON (入) 側に倒すと入り、OFF (切) 側に倒すと切れます。



試運転をします

⚠ 注意

- 機体のスイッチを入れるときは、機体の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。
接触していることを知らずにスイッチを入れると、トイシが破壊することがあり、けがの原因になります。
- 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から必ず一時、体を避けてください。

人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転をし、異常がないことを確認します。

試運転時間

トイシを交換したとき : 3 分間以上
その日の作業始めのとき : 1 分間以上

作業をします

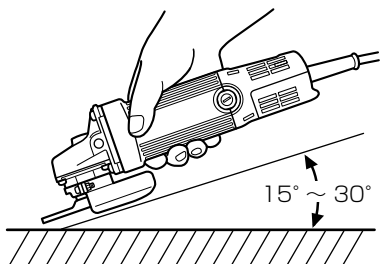
警告

- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- 機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意してください。
万一機体を誤ってぶついたり、落としたりしたときは、必ずトイシのヒビ割れや、機体に破損などが無いことを十分確認してください。

注 モーターが回転中には、ロックピンを押さないでください。またロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。

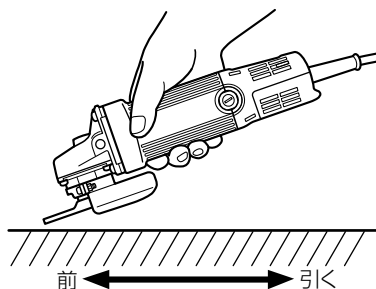
● 研削をします

- トイシは研削面に軽く押し付けて研削します。
強く押し付けますと、作業能率が悪くなり、モーター焼損の原因になります。
- トイシは全面を当てないで外周部で研削します。研削面に対し $15^{\circ} \sim 30^{\circ}$ 傾けて使用します。



- トイシが新しいときは前方へ押さないで引くようにして使用します。
トイシの角が消耗したらどちらに進めても結構です。

- 使用後はスイッチを切って、トイシの回転が止まってから機体を置いてください。
回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますので注意してください。



別売部品

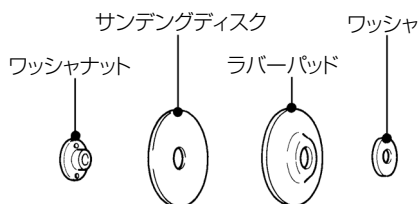
販売店でお求めください。(別売部品は生産を打ち切ることがあります。)

警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 別売部品を使用の場合も、必ずホイルガードを取付け、保護メガネを使用してください。

1. 100 mm サンディングディスク

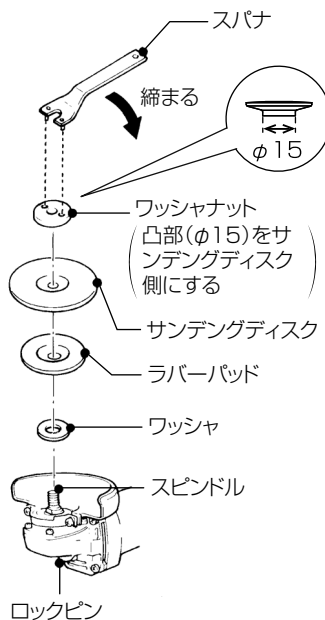
- 研削量が少なく仕上げ面をきれいにしたいとき、塗装面の下地みがき、さび落とし、塗料落としなどに用います。
- 粒度はP16、P20、P24、P30、P36、P40、P50、P60、P80、P100、P120の11種類ありますので、要求の際は適当な粒度を指定してください。
- サンディングディスクを使用するときは、ワッシャナット、ラバーパッド、ワッシャを一緒にお買い求めください。



取付けかた

(この場合は付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットは使用しません。)

- (1) スピンドルにワッシャ、ラバーパッド、サンディングディスクの順に取付けます。
- (2) サンディングディスクの上からワッシャナットの凸部(φ15)をサンディングディスク側にして、スピンドルに取付けます。
- (3) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでワッシャナットを十分に締付けます。



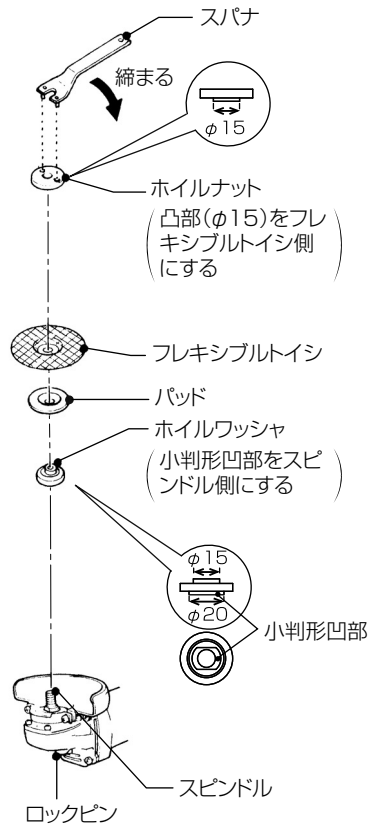
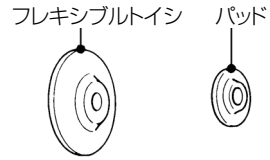
2. 100 mm フレキシブルトイシ

- 柔軟性をもったトイシで、作業中の衝撃が少なく、レジノイドトイシによる重研削と、サンディングディスクによる上仕上げの中間仕上げに適し、高能率を発揮します。
- 粒度は #36、#46、#60、#80、#100、#120 の 6 種類ありますので、ご要求の際は適当な粒度を指定してください。

取付けかた

(ホイルワッシャ、ホイルナットは付属のトイシ取付け用と同じです。)

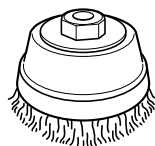
- (1) スピンドルにホイルワッシャをトイシ取付け時と同様に取付け、パッド、フレキシブルトイシの順に取付けます。
- (2) フレキシブルトイシの上からホイルナットの凸部 ($\phi 15$) をフレキシブルトイシ側に向けて、スピンドルに取付けます。
- (3) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締めます。



3. 75 mm カップワイヤブラシ (より線)

- 鋳物、構造物、タンク、車体、鉄板などの表面仕上げ、またはペンキをはがすのにサンディングディスクの代りに用いると有効です。とくに仕上げ面が平らな場合能率的です。

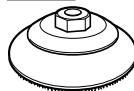
ねじ式



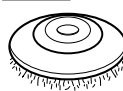
4. 95 mm ベベルワイヤブラシ (より線)

- カップワイヤブラシと同じ目的に使用されますが、特に凸凹が激しい面や、隈の部分または溝の底などを仕上げる場合に外周部を使用し、能率を上げることができます。

ねじ式



穴式



警告

ワイヤブラシを使用する際は、必ず専用保護カバーを装着し、保護メガネを着用してください。

万一、ワイヤが飛び散ったとき、けがの原因になります。

○ カップワイヤブラシ (ねじ式)、ベベルワイヤブラシ (ねじ式) の取付けかた

両方とも、トイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットは使わず、直接スピンドルに取付けます。

○ ベベルワイヤブラシ (穴式) の取付けかた

付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットを使い、13ページの「2. トイシを取付けます」の項の要領でトイシの替わりにベベルワイヤブラシ (穴式) を取付けます。

5. 100 mm 切断トイシ

注 モーター焼損の原因になるので、1回の切込み量は5 mm以下にしてください。また、回転数が低下しないように送り速さを加減しながら、無理な力をかけないようにして使用してください。

- 切断トイシは金属用と非金属用の2種類あります。
鉄などの切断には金属用切断トイシを使用してください。
- 切断トイシを使用するときは、ホイールガード(切断用)、ホイールナット(切断用)、ガイドベース組を一緒に買い求めください。(ガイドベース組はダイヤモンドホイール用と共通です。)

取付けかた

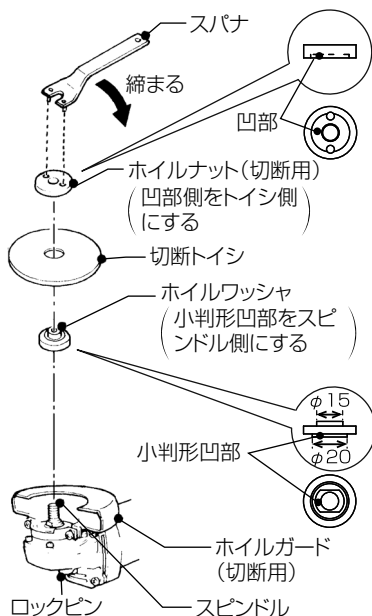
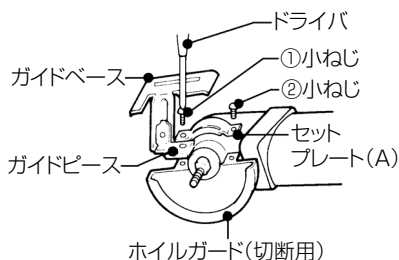
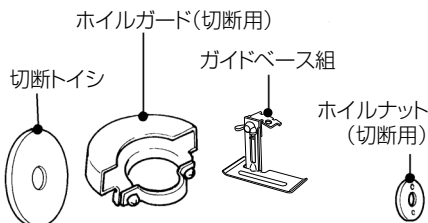
○ガイドベース組の取付けかた

切断トイシのときはホイールガード(切断用)を使用します。

- (1) ホイールガードの小ねじ(2本)をゆるめます。
- (2) ガイドピースをホイールガードとセットプレート(A)の間に挟み込み、①小ねじを十分に締付け、動かないように固定します。
- (3) ホイールガードの角度を作業に合った位置にセットし、②小ねじを十分に締付け、ホイールガードを固定します。

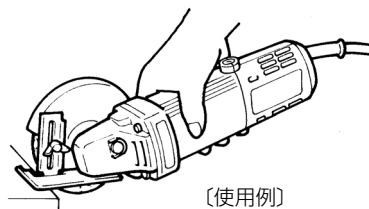
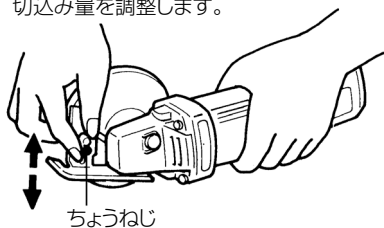
○切断トイシの取付けかた

- (1) スピンドルにホイールワッシャ、切断トイシの順に取付けます。
- (2) 切断トイシの上からホイールナット(切断用)の凹部を切断トイシ側に向けてスピンドルに取付けます。
- (3) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイールナット(切断用)を十分に締付けます。



○切込み量の調整と使用例

ちょうねじをゆるめて、
切込み量を調整します。



6. ダイヤモンドカッター（乾式用）

⚠警告

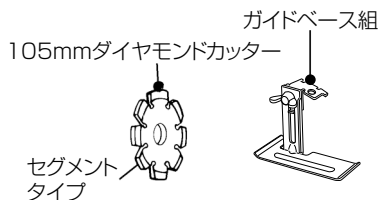
- ダイヤモンドカッターは弊社指定の別売部品（外径 105 mm、穴径 20 mm の物）を使用してください。
- 使用前に、必ずダイヤモンドカッターにヒビ割れ、欠け、曲がりがないことを点検してください。
- 水や研削液などをかけて使用しないでください。
- 切削方向によっては反力があるので、機体を確実に保持してください。

⚠注意

トイシと同様に試運転を行って、異常がないことを確認してください。
(14 ページを参照してください)

注 モーター焼損の原因になるので、1 回の切込み量は 5 mm 以下にしてください。また、回転数が低下しないように送り速さを加減しながら、無理な力をかけないようにして使用してください。

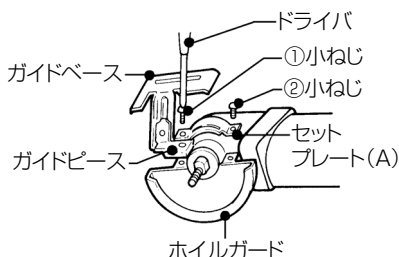
- カワラ、タイル、石材などの溝入れに用います。
- ダイヤモンドカッターは乾式用を使用してください。
- ダイヤモンドカッターを使用するときは、ガイドベース組と一緒に買い求めください。(ガイドベース組は切断トイシ用と共通です。)



取付けかた

○ガイドベース組の取付けかた

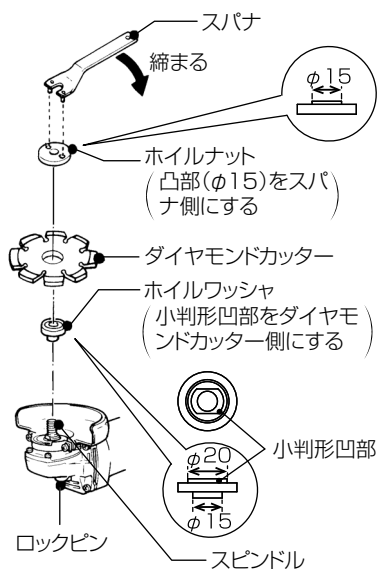
- (1) ホイルガードの小ねじ(2本)をゆるめます。
- (2) ガイドピスをホイルガードとセットプレート(A)の間に挟み込み、①小ねじを十分に締付け、動かないように固定します。
- (3) ホイルガードの角度を作業に合った位置にセットし、②小ねじを十分に締付け、ホイルガードを固定します。



○ダイヤモンドカッターの取付けかた

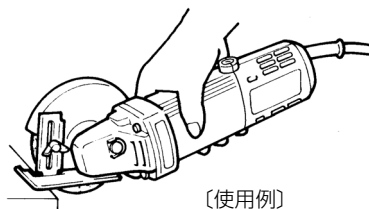
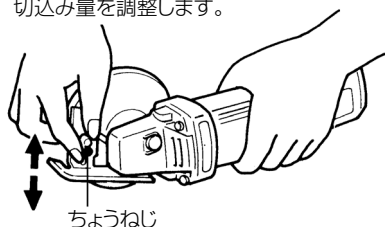
(付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットを使用しますが、どちらも付属のトイシ取付け時と向きを逆にして使用します。)

- (1) スピンドルに、ホイルワッシャ、ダイヤモンドカッターの順に取付けます。
- (2) ダイヤモンドカッターの上から、ホイルナットの凸部(φ15)をスパナ側に向けて、スピンドルに取付けます。
- (3) ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。



○切込み量の調整と使用例

ちょうねじをゆるめて、
切込み量を調整します。



点検、手入れについて

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1. 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

2. 機体の点検

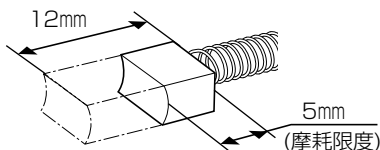
各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

3. カーボンブラシの点検・交換

カーボンブラシは消耗品です。長さが使用限度になりましたら、新品と交換してください。

〔点検・交換のしかた〕

マイナスドライバーでブラシキャップをはずすと取り出せます。



注 新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

4. 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>